

第30回理事会報告

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2006年6月10日(土) 13:00~14:15

出席：理事会=17名(内委任4) 監事：2名 議長：青山、議事録署名人：花口・三村

〔報告・承認事項〕

1. 2006年5月末決算報告、会費納入状況報告がありました。

5月末会費納入状況は、個人53・団体36・法人86・合計175会員で、昨年同期の84会員を大きく上回っています。また、新規加入は団体で13、個人で3となっています。

5月までの収支は、会費の納入が計画よりも早くなっているため、予算に対して90万円以上の収支改善となっています。それ以外の収支はほぼ予算どおりで、実質上は予算並に推移しています。
2. 事業などの報告がありました。

2006年度のアースデー企画のまとめが報告されました。参加者は計画を大きく超える137名で、講演・燻製作り・地引網・宝探しなど家族で楽しみながら、環境について考えるよい機会となりました。効果検証のためにアンケートなどをとることの指摘があり、今後の活動に生かしていくこととしました。

第7回助成活動報告会について報告がありました。助成15団体中13団体の報告があり(2団体は展示報告)、4名の講師より講評をいただきました。年々、活動の幅やレベルが向上しています。

調査研究活動の報告書「自然とくらし~岡山の10年をかえりみて~」が発刊されました。おかやま環境ネットワークNEWSとあわせて、会員・友誼団体・関係行政に郵送します。また、申し出があった場合は、1部500円でお分けすることにしました。

2005年の環境家計簿報告書が完成しました。二酸化炭素の排出量は、厳冬の影響などで前年比100.9%となりました。環境家計簿登録者・会員・友誼団体に郵送します。

ホテル連絡会が開催され、幼虫の上陸状況などの交流を行ないました。また、2006年のホテルフォーラムは矢掛町・宇内地区で行う方向が確認され、地元からも受け入れの意思が表明されています。
3. その他
循環型情報学習プラザ(仮称)の論議状況について報告がありました。4名の事務局を中心に、設立趣意書・運営ルール・事業内容の検討をすすめています。8月までに事業計画を取りまとめ、県との調整に入ります。2007年3月をめどにNPO法人を設立する方向です。但し、循環型情報学習プラザとおかやま環境ネットワークの機能・役割が重なる部分があるので整理する必要があります。

〔協議・決定事項〕

1. 2006年度のエコファミリー講座の企画概要が提案され確認されました。講座部会での提案を受け、「自然とふれあう」ことを主な目的として企画します。基本は昨年をベースに考えますが、旭川中流域の視察・グループ構成・参加条件などを改善します。
2. 2006年度の環境基礎講座(仮称)の開催について提案があり確認されました。「誰でも気軽に学べる」「問題意識をはぐくみ、自ら学習・行動するきっかけ」となる講座と位置づけ、土曜日半日×5~6講座とします。内容は、総論・大気・水・土・生態系・食とくらしなどをテーマとする方向で考えています。法体系についての学習が必要だとの意見が出され、それも踏まえて、詳細は講座部会・講師経験者の打合せを踏まえて決定します。座学中心の講座となりますが、フィールドワークや諸体験などは、テーマ別講座など別の企画で検討します。
3. 2006年度の企業環境塾の開催について提案があり確認されました。中小企業の環境対応をすすめるための人材養成を目的に、2006年9月~2007年3月にかけて、全6講座と活動発表大会を開催します。
4. NPO法人岡山環境カウンセラー協会より、「環境学習スキル研修」に対して、活動支援費5万円の支給の申請があり了承されました。

次回理事会 8月19日(土)10:00~12:00、オルガ5F会議室スカーレット